

脊椎疾患 腰痛

桑園整形外科

札幌市中央区北8条西16丁目
☎ 011・633・3636 <http://www.dr-azuma.net>

患者の不安と痛みを取り除く 脊椎疾患のスペシャリスト



本間信吾 副院長

◎ほんま・しんご / 1971年北大医学部卒業、北大医学部整形外科医局入局、79年アイオワ大学留学(脊椎ハイオウエリクス)、80年札幌市立札幌病院整形外科に勤務、同年博士号取得、2009年桑園整形外科副院長に就任、日本整形外科学会認定医、日本リウマチ登録医、日本整形外科学会脊椎・脊髄認定医、日本整形外科学会などの役職を歴任。

うなると精神状態は歪んでしまい、病気を実際より悪いと思ひ込み、さらに症状を



多くは、不安感の中から抜け出せずに、適切な治療を受けられていない。
同院では、

JR桑園駅から徒歩5分、駐車場も完備

人間の8割が経験するといわれる腰痛は、ストレスや姿勢のゆがみなど、原因と症状は人それぞれで、長

い歴史を持つ現代病とも言われている。

桑園整形外科の本間信吾副院長は、30年以上にわたる腰痛治療に携わってきた脊椎外科の第一人者だ。

「さまざまな原因が考えられる腰痛は、患者1人ひとりの自覚症状と状態を的確に判断することが重要です」と話す本間副院長の診察は、患者との対話のみならず、

院内は医療機関とは思えない落ち着いた雰囲気

家族や職場などの生活環境をヒアリングしながら治療にあたるという独特な診療方法だ。

病気だけを診る医者が多い中、患者の生活環境全体を把握し痛みの原因を解明する、いわば医療本来の形を投影した専門医といえる。その人柄ゆえ、信頼も厚く、患者は全国各地から診察に訪れている。

「人は苦しい時、痛い時は誰もが不安になります。その不安な精神状態のままでは、的確な診断は困難で、手術の可否も正確には判断できない。同院には、手術以外の治療が可能であった患者が他院で手術と判断されたり、手術後の痛みが取れない、逆に痛みが強くなったと来院してくるケースが後を絶たないという。特に、脊椎疾患を持つ患者の

悪化させていくのです。不安を取り除く事が、治療の第一歩です」と本間副院長は話す。

「不安な精神状態のままでは、的確な診断は困難で、手術の可否も正確には判断できない。同院には、手術以外の治療が可能であった患者が他院で手術と判断されたり、手術後の痛みが取れない、逆に痛みが強くなったと来院してくるケースが後を絶たないという。特に、脊椎疾患を持つ患者の

「私自身だけでも年間100例程度の手術を行います。あくまでも手術は最終手段です。利点と欠点を十分理解して頂いた上で慎重に勧めています」